



Yonago East Weekly

創立 / 1968年4月24日 事務所 / 米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 (0859)32 5531
 例会日 / 水曜日12:30 ~ 13:30 例会場 / ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 (0859)33 0911
 会長 / 杉原弘一郎 幹事 / 宮岡博就 会報 / 荒川圭三 提供 / 東京印刷

出席報告

会員数75名 出席数 40名 欠席数 31名
 出席免除会員 4名(荒川(雄)君、村上君、松本 (正)君、
 新宮君)

出席率 58.67%
 前回補正出席率 1/14 79.16% 1/7 81.94%

欠席者

芦立君、足立(延)君、藤尾君、深田君、井上(雄)君、井上(賢)君、池淵君、岩崎(稔)君、勝部君、木美君、北沢君、小土井君、小西君、光井君、長棟君、西村君、坂口君、野津君、尾沢君、佐田山君、安井君、杉本君、戸田君、高橋君、田村君、豊嶋君、上森(英)君、内田君、植田君、吉岡君、柳谷君、山根君、山中君

ビジター

入沢宏君、白根一君(米子)

メーカーキャップ

今週のお祝い

スマイルBOX 5,000円(累計625,000円)
 夫人誕生祝: 松本(啓)君、妹尾充会長から例会運営に対しお褒めを頂きました: 杉原君

会長挨拶

最近、いろいろな会に所属しておりますと、会合で私は長老になってしまいます。ところがロータリークラブの会合に来ますと私よりも長老が沢山おられ、非常に心安らかに元気になる思いです。ロータリークラブは居ながらにして、100名近くの方々とお話することが出来ますし、あらゆる職業の方がいらっしゃる。そして自分の職業を脱皮して、横の関係で話が出来ると素晴らしいところです。居ながらにして社会貢献も国際貢献も出来ます。そういうわけで出席していれば自動的に色々なことが出来ていく、ありがたいところだと思います。願わくば皆さん高齢になられましても、ロータリークラブをお続けいただきたい。そうすると後輩がどんどん出やすくなりますので、頑張ってくださいようにお願い致します。それから月曜に臨時理事会を開催致し、韓国の交流問題について、色々とお話をさせていただきました。ご協力誠にありがとうございます。

幹事報告

- 第1・2グループ合同IM開催について
3月15日(日) 11:30 ~ 16:00 県民ふれあい会館
- ガバナー・マニ-候補者の推挙について
倉吉RC 伊藤文利 氏
- パイロット地区応募に関するアンケート
- 地区雑誌・広報委員長会議のご案内
3月14日(土) 13:30 ~ アークホテル岡山
- ロータリーレート通知
2月 88円/ドル
- 例会変更通知

鳥取RC	2月19日(木)	} 2/20 5RC合同例会
鳥取北RC	24日(火)	
智頭RC	18日(水)	
鳥取中央RC	23日(月)	
鳥取西RC	20日(金)	

各クラブビジター受付あり
- 臨時総会のご案内 1月28日(水) 例会後



MAKE DREAMS REAL 夢をかたちに

プログラム

「年男放談」

細田耕治 君

同年の一番出世は、米国大統領バラクオバマと思います。上院議員になったとき黒人は1人だったそうです。まだアメリカは差別社会で、新しい世の中への期待感もあって熱狂的に迎えられていると感じます。両親は離婚し、白人社会で疎外感を感じて育ち、弁護士になり政治家への道を開いたそうです。私は不自由もなく学校へ行き、父のあと社長になり事業をやっています。苦勞を買ってでもしてオバマさんに近づきたいと思っています。話は変わり、お正月に毎年3回初詣を致します。根雨の神社、出雲大社、西条稻荷に参らせていただきます。ところが、初詣の後に神棚を壊してしまい、参り直して2階に遷宮させていただこうと思っています。啓示かとも感じており、新しいものを作ってこの恐慌を乗り越えていきたいと思っています。また、連続出席も続けられるように頑張りたいと思っています。

「年男放談」

荒川圭三 君

1月15日で48歳になりました。生まれた時はもう戦後ではないと思います。白黒テレビ、アポロ8号、薪の風呂など。その後は経済が成長し、目に見えて変わってきました。無くなっていったものもあります。雪の日、仕事場まで1本道を歩いて行くと、すれ違いで避けて下さった方が1人だけでした。散歩中の70代の方で、20代30代の方は誰も避けず、人との付き合い方の変化を感じます。江戸時代には人と人が共生して摩擦が起きないように暮らしており、傘を相手の反対に傾けてすれ違ふとか、肩を斜めにする簡単なしぐさもなくなり、現代では無用な摩擦が増えていると思います。また、世界中が100年に一度の経済状態ですが、命の危険はなく暮らせています。この場所に生まれたことは大きな運であり、これをみんなで生かして暮らしていければと思います。

3分間スピーチ

永見 吉平 君

人と人との縁ということで、ある素晴らしい文章を披露させていただきます。5年生の担任になったとき、不潔でだらしく好きになれない少年がいた。1年生の記録が目にとまった。朗らかで人にも親切、勉強も出来、将来が楽しみ。2年では母親が病気。3年では病気が悪くなり、疲れて居眠り。後半には母親が死亡。4年では父が暴力。突然深い悲しみを生き抜いている少年が立ち現れたのだ。放課後先生は少年に声をかけ、少年は初めて笑顔を見せた。それから少年は教室の机で予習復習を熱心に続けた。卒業の時カードが届いた。先生は僕

のお母さんのようです。

6年後、奨学金で医学部に進学することが出来ます。10年後、医者になった僕にとって最高の先生は5年生の時の先生です。1年後届いたカードは結婚式の母の席の招待状だった。たった1年の縁に少年は無限の光を見だし人生を生きた。大事なものは与えられた縁をどう生かすかである。

次回プログラム

1月28日 「乾燥地における砂漠化と水」

鳥取大学乾燥地研究所所長 恒川篤史 氏

2月 4日 「ロータリーの友紹介」

雑誌リーダー 芦立 久 君

「未定」 野坂美仁君